



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 赤津 善宣
幹事 山下 喜一
SAA 富岡 幸広
会報小委員長 鈴木 正人

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2442 回 例会 平成 24 年 2 月 8 日 (水・曇)

2011 ~ 2012 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

国際ロータリー第 2530 地区

いわき分区ガバナー補佐 橋本 芳家 様
〃 幹事 佐久間守人 様
いわき平中央ロータリークラブ 中田 博道 様

ロータリーソング

— 今月は世界理解月間です —

4 つのテスト
嵐 繁雄 会員



◎会長報告 - 赤津善宣会長

皆さん、今日は。先週の厳しい寒さとは変わり一時中休みのようです。しかし、週末には寒さが戻って来るという予報が出ております。油断せずに体調管理は行って戴きたいと思っております。それでは本日のお客様をご紹介したいと思います。第 2530 地区いわき分区ガバナー補佐橋本芳家様といわき分区幹事佐久間守人様です。それから本日外部卓話をお願いしましたいわき平中央ロータリークラブの中田博道様です。後程卓話を宜しく申し上げます。また、過日は当クラブの磐城農業高等学校震災支援プロジェクトとして備品等の購入をご承認戴き着々と準備を行っているところです。品物について納期がばらついており学校と打ち合せをしながら受け取り方についても問題が無いように担当の先生にお願いしてあります。なお、2月22日(水)の例会には贈呈を行う予定です。今日はスケジュールが沢山ありますので私からは以上で終了です。

◎ガバナー補佐挨拶



いわき分区ガバナー補佐
橋本 芳家 様

皆さん、今日は。いつも大変お世話になっております分区的橋本です。今日はお知らせとお願いがあり訪問させて頂きました。1つは3月10日に平荒川運動場にあるスタジアムで東日本大震災でお亡くなりになった方1,925名、行方不明の方64名の鎮魂の慰霊と福島復興祈願をどんな方でも参加出来る形で3.11希望のあかりプロジェクトを行います。また、いわき海星高校震災復興支援が小名浜ロータリークラブからの申請で通りました。海星高校の津波被害の後片付けを全国の真言宗智山派の御坊さん方がされ、お亡くなりになった方の御家庭に仏壇を500位ご寄付されました。その縁で神戸から応援に来ている方から1.17の震災慰霊火が灯っているのでそれを運んで福島でやってみてはどうでしょうかとなり各方

面の皆様のご支援、ご協力を戴き実現することになりました。また、今回の震災で全世界から義援金を頂戴致しましたので5月開催される国際大会にブースを出すことになりました。格安のトラベルを押さえたので是非今月23日までにお申し込みをお願いします。それから毎月15日に震災復興会議が開かれいろいろな支援活動の申請を受付けております。まだまだ震災復興は続くと思っておりますので諦めずに申請して下さい。

◎幹事報告 - 山下喜一幹事

- ・先週例会終了後に理事会があり、その内容についてご報告します。只今橋本ガバナー補佐からもお話がありました。3月10日の復興祈願が平のスタジアムで行われますが、その募金について理事会で検討した結果出すことになりました。当日参加される会員の方はご連絡下さい。また、3月10日~11日に開催される勿来地区の鎮魂祭についても協賛金依頼が来ており協賛することに決まりました。
- ・東日本大震災復興支援の能が東京で開催されます。その催しに朱美善さんが参加したいということで参加することになりました。
- ・いわき市出身の音楽家竹中敏子さんの後援会が出来るといことで入会者の募集案内が来ています。
- ・3月3日にいわき桜ロータリークラブ全日本合唱祭チャリティーパーティーがワシントンホテルで開催されます。
- ・いわき平ロータリー、いわき平中央ロータリー、いわき平東ロータリーの週報を回覧中です。
- ・米山記念奨学会より渡邊公平会員へ米山功労者第10回メジャードナーの感謝状と記念品が届いております。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 峯口小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、本日は出席奨励賞をお渡し致します。丹野会員、清水会員、



川中会員、齊藤会員前の方へお願いします。



◇スマイルボックス委員会 - 佐久間小委員長

- ・クラブ訪問させて戴きます。宜しくお願いします。
いわき分区ガバナー補佐 橋本 芳家 様
〃 幹事 佐久間守人 様
- ・本日の卓話宜しくお祈り致します。
いわき平中央RC 中田 博道 様
- ・いわき分区橋本ガバナー補佐、佐久間幹事、いわき平中央RC中田様の来訪を歓迎して。
富澤、船橋、嵐、高木、児玉、鈴木、佐野、富岡、齊藤、濱沖、押田、渡邊(國)、後藤、越田和、渡辺(勉)、佐久間、吉野、荒川(清)、鈴木(修)、櫛田各会員及び渡邊公平ガバナーノミニ、赤津会長、生駒副会長、高萩会長エレクト、山下幹事
- ・誕生日祝いありがとうございます。鈴木(修)会員
- ・出席奨励賞ありがとうございます。

川中、丹野、齊藤、清水各会員
・前回例会休んでごめんなさい。

齊藤、岩元、小熊各会員及び生駒副会長
・本日早退ごめんなさい。越田和、佐藤(政)各会員

◇環境保全委員会 - 渡辺 勉小委員長

昨日の福島民報さんにしあわせのクローバー運動が掲載されました。津波被害を受け土が出ている所に種をまいて花を咲かせて蜜蜂を放して蜂蜜を採取しようと計画中です。岩間地区の数軒の方から了解を戴きましたので3月4日午前10時から磐城農高の生徒さんも一緒に参加致しますので皆さんの協力宜しくお願いします。

◎ゲスト卓話 いわき平中央ロータリークラブ
中田 博道 様

本日は「不可解なり」をテーマにお話をします。

早いもので東日本大震災から1年近く経つ。そこで思い起こすのは私が所属するいわき平中央RCの先輩が、避難先で藤村操の巖頭之感の一説『はじめて知る。大なる悲観は大なる樂觀に一致するを。』が脳裏に浮かび、どこにいても私は私である。私を必要としている人たちがいる故郷いわきに今こそ帰ろうと思いついたという話である。

私はとてもそんな達観の境地とは無縁であり、あえて藤村操を引き合いに出して自らを語るなら、巖頭之感の一説『萬有の真相はただ一言にして悉す。曰く不可解』であろうか。17の少年が言うには可愛げもあるが、耳順を超えた者としては情けなきことだが、不可解なことが次々に浮んでくるのは浅学非才であるが故か。しかもそれは他人に言わせるとどうでもよいことばかりなのであるから厄介である。一度女房に『君の作るのは「おにぎり」であって「おむすび」ではないと思うのだが、いったい「おにぎり」と「おむすび」の違いはなんだと思う?』と尋ねたことがあった。彼女は『アンタの不可解は私の不愉快』

と言って徹底的に無視してくれた。

後日、図書館でその違いを記した本を発見したときは、素直に嬉しかった。その本によると古代出雲人は神産巢日神(かみむすびのかみ)が神奈備の山に降臨すると信じており、この神が象徴する五穀第一位の米を神奈備山の形(三角形)に作り、それを食することで神産巢日神の霊力が宿るとされたことに由来するそうだ。

これは英国の民俗学者ジョージ・フレイザーが云う「模倣呪術」そのものである。

古代日本人は中国からさまざまな文化を取り入れたが、牧畜や遊牧だけは取り入れなかったということが日本史の七不思議のひとつといわれている。しかし、古代日本人には荒々しい野生の動物や生き生きとした植物を食することで、それらが持つ生命力を体内に取り入れられ自らが荒々しく、みずみずしい身体になると考えていた。荒々しい獣や鳥を捕獲するには大変な労力を必要としたのにもかかわらず、飼いなされた豚や力強く飛ぶことができなくなった鶏などはその生命力が弱いとみなし、ついで牧畜や遊牧を取り入れなかったという。こうした思考のあり方を世界に求めフレイザーは社会の歴史を「古代を呪術的思考社会、中世を宗教的思考社会、近代を科学的思考社会」といったが、「おむすび」こそ古代日本社会の象徴的な思考を表現した食べ物であると個人的に理解し、納得もしている。

故に「おむすび」は三角形でなくてはならず、たとえ米であっても丸く握られたものは「おむすび」として成立せず一段低い「団子」とみなされるという。そういえば、桃太郎の話では、従事のサル、キジ、犬に与えたのは「きび団子」であった。そうなる何故霊力的場パワーが宿る「おむすび」でなく「団子」なのだろうと、またまた不可解になる。調べると、この伝説は柳田國男など多くの方たちがその由来を研究しておられるが、そのひとつに神功(じんぐう)皇后三韓征伐に由来する説がある。桃太郎に従う動物は新羅、百濟、高句麗をイメージさせるもので、これらに与えるものは半島人が食するキビを「おむすび」より格下の「団子」にして与えたという。これからは朝鮮半島を見下す当時の日本側の気分がうかがい知れるが、それよりも何故団子は格下なのかである。「団」は「まる」とも読み、「頭を丸める」「丸くなる=おとなしくなる」など服従や従順につながるからではないかと思うが定かではない。しかし、明治初期まで13代続いた穢多・非人を束ねた頭領が代々名乗った名が「弾左衛門」であり、時の権力に莫大な金を献上させられていたことから、当らずとも遠からずかもしれない。

ちなみに桃太郎は神功皇后の「腿=もも=股」から生まれたから腿太郎というのであり、その人が応神天皇で、彼が産まれる時、天から紅白の幕が下りたという伝説から、「紅白」はめでたいもの、そして戦の神とされる応神天皇にあやかり、後の武士たちが、つまり源氏は「白」、平家は「赤」の旗を用いたという。しかし、それも我が女房殿にはどうでもよい話である。

このようにひとつ不可解が解消されると次の不可解の種が顔を出す。

出席状況

正会員数 55名
本日の出席率 80.39%

本日出席会員数 41名
修正出席率 84.31%